

2023年8月28日

株式会社新日本リプラスに対する 「むさしのサステナビリティ・リンク・ローン」の取扱いについて ～循環型社会の実現に貢献する取組みをサポート～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、2023年8月28日（月）、株式会社新日本リプラス（代表取締役 小場 晋輔、東京都荒川区）に対し、「むさしのサステナビリティ・リンク・ローン」（以下、「SLL」）の取扱いを行いましたので、お知らせします。

SLLはお客様がSDGsやESGに関連する事業挑戦目標であるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、SPTs^注）を設定し、その達成状況に応じ金利など融資条件が変動する仕組みの融資商品です。

株式会社新日本リプラスは1996年創業のプラスチックリサイクル事業者で、輸送や物流で用いられているプラスチック製パレット等を買取回収し、種類や色などで選別したうえ、粉碎・洗浄・脱水加工を行い、再生サイクル用チップ等に再資源化しています。また、同社により再資源化されたチップ等はバージン材に代替する素材として用いられ、国内外の大手プラスチック成型メーカーにより製品化されていきます。

このように、同社のビジネスモデルはプラスチック製品の再生循環スキームを構築するもので、資源の効率的利用と廃棄物の抑制を通じ環境負荷軽減に大きく寄与しています。

今般のSLLにおいて、同社は「循環型社会」の実現に向け、一層の貢献を果たすべく、SPTsとして「再生プラスチックの出荷量」を設定しました。

なお、本件のSLLとしての適合性およびSPTsの野心性については、外部評価機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しております。

当行は、今後もサステナビリティ金融への積極的な取組みを通じ、取引先のサステナビリティ経営を後押しし、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

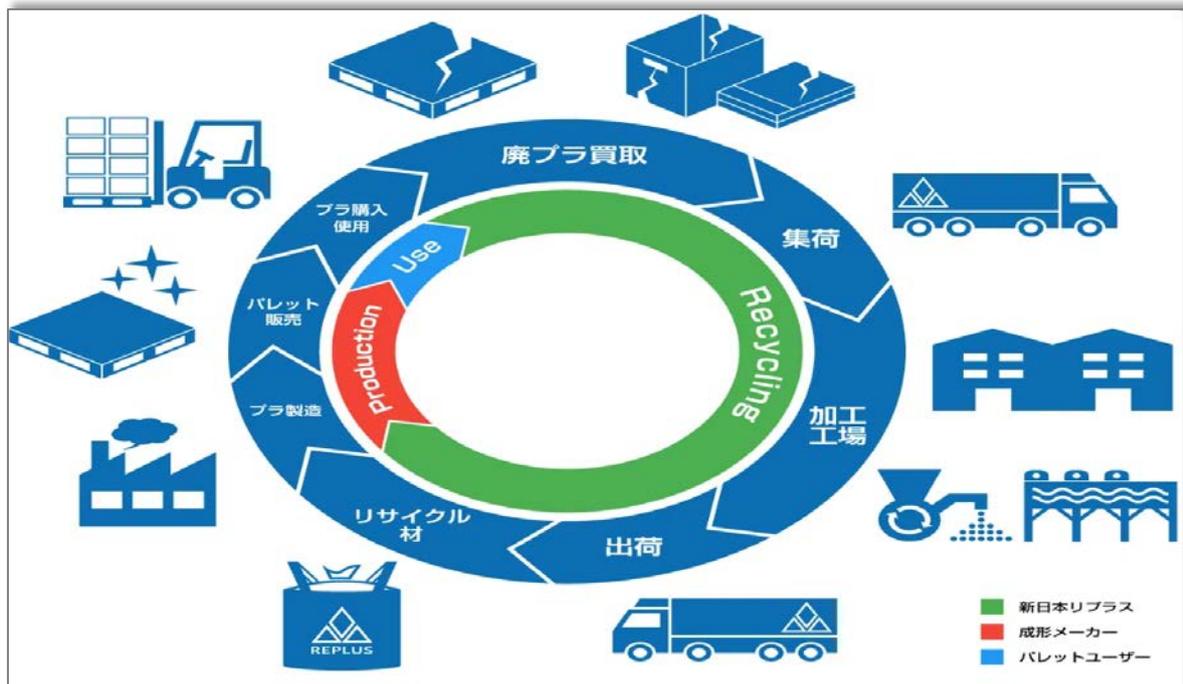
注 サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲットの略。環境・社会・経済に対するお客様の事業活動による影響を考慮した「サステナビリティ戦略」と整合した目標をいいます。

《SLLの概要》

企業名	株式会社 新日本リプラス
代表者	代表取締役 小場 晋輔
所在地	東京都荒川区東日暮里5-41-2 NNビル8F
業種 および 事業内容	プラスチックリサイクル業 プラスチック製パレット等を買取回収し、選別のうえ粉碎・洗浄・脱水加工を行い、再生サイクル用チップ等に再資源化。再資源化されたチップ等はバージン材に代替する素材として用いられている。
契約締結日	2023年8月28日（月）
融資金額	1億円
資金使途	運転資金
事業挑戦目標	再生プラスチックの出荷量
第三者評価機関	株式会社格付投資情報センター（R&I）

次ページへ

＜新日本リプラスのプラスチック再生循環ビジネスモデルイメージ＞



以上

＜参考＞むさしのサステナビリティ・リンク・ローンのスキーム図



報道機関からのお問い合わせ先
 ソリューション営業部 法人営業グループ 崎谷 健史・野中 俊介
 TEL (048) 641 - 6111 (代)